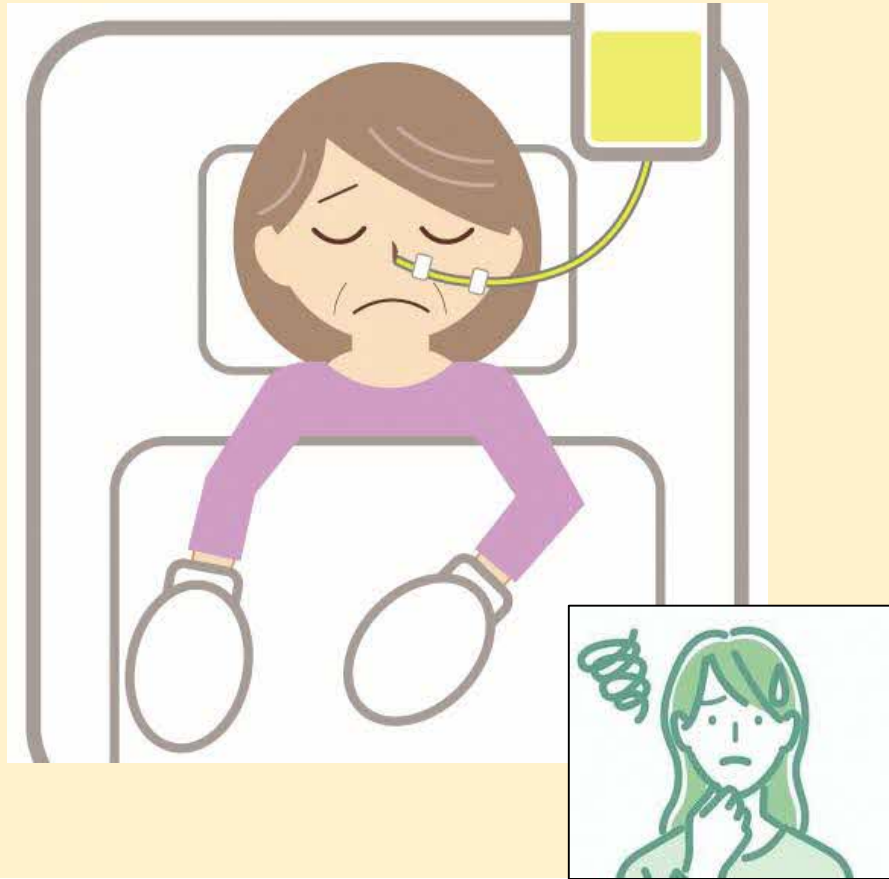


人生会議（ACP）のポイント

おきしろ在宅クリニック
沖代奈央

「本当にこれで良かったのか？」

Aさん



Bさん



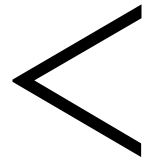
日本版ACPの定義①

- ・ ACPとは、

必要に応じて信頼関係のある医療・ケアチーム等の支援を受けながら、本人が現在の健康状態や今後の生き方、さらには今後受けてたい医療・ケアについて考え、家族等と話し合うことです。

日本版ACPの特徴①

自分で
決める



本人・家族の
話し合いを
医療者が支援

日本版ACPの特徴②

広義のACPである

狭義のACP
人生の最終段階の
医療やケア

現在の医療・ケア
の選好

価値観や
今後の生き方

日本版ACPの定義②

- 特に将来の心づもりについて言葉にすることが困難になりつつある人、言葉にすることを躊躇する人、話し合う家族等がいない人に対して、医療・ケアチーム等はその人に適した支援を行い、本人の価値観を最大限くみ取るための対話を重ねていく必要があります。
- 本人が自分で意思決定することが困難になったときに、将来の心づもりについてこれまで本人が表明してきた内容にもとづいて、家族等と医療・ケアチーム等とが話し合いを行い、本人の価値観を尊重し、本人の意思を反映させた医療・ケアを実現することを目的とします。

揺らがない根っこに焦点を



「胃瘦は付けたくない」

なぜ？



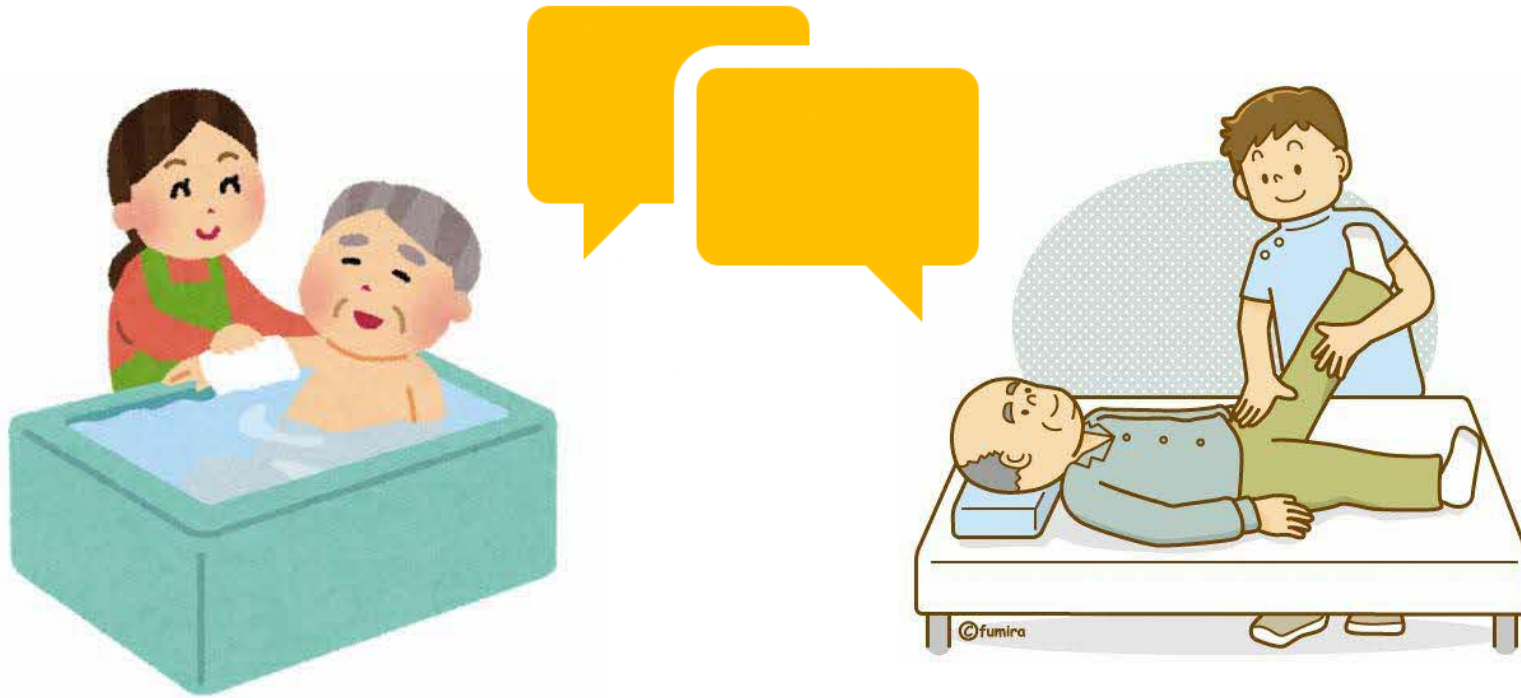
食べることを
楽しみたいから

自然な形で
最期を迎えたいから

胃瘦は
痛そうだから

胃瘦は良くないと
聞いたから経鼻栄養を

多職種によるACP



今後の希望に関する言葉があれば、
ぜひ共有してください

ACPの始め方（私のやり方）

- 何気ない会話から始まるACP
- 医療者が意図的に始めるACP

導入がとても大切

💡 今かな？

患者さんが
今後のことを
考えられそうな様子

ACPを提案して記入シート手渡し



後日、家族も一緒に話し合い

うまくいくポイント

- 家族の同席
- 目的をしっかり伝える
 - 「これからどんな時も希望に沿った医療やケアをしたい」
 - 「あなたが大切だと思っていることを教えてほしい」
 - 「ご本人はもちろん、家族にも大きなメリットがあります」
- どうしたいですか？ → 「〇〇について、考えたことはありますか？」(Q8.9)
- 理由を尋ねる
 - 理由にその人らしさが現れやすい
- 希望を灯す締めくくり
 - 「〇〇を大切にしていけるよう考えていきますね」(Q1)
- 家族の思いも聞く
 - 「ご家族はどう思われますか？」

ACP失敗例



「自分で歩いて車に乗って、家へ帰ってきたわけですよ。書斎で仕事もできる。希望にあふれて帰ってきました」妻：寿々子さん

巨泉さんは、医師の支えを受けながら、新しい生活を送れると期待していました。ところが、初めて訪れた在宅医から、思わぬ言葉をかけられたといいます。

“いきなり医者が僕に、「大橋さん。どこで死にたいですか？」と聞いてきた。すでに死ぬ覚悟はできていたのだが、「えっ？俺もう死ぬの？」とぼう然とした。”

「えって、びっくりして返事をして。主人は首をかしげながら、ひゅーっと小さくなっていくようにがっかりしてしまった。その日を境に、急激に食欲が落ち、生きる気力さえ失っているように見えました」

直線的な時間（健康人）



1日1日を生きていく
（患者さん）

現在

うまくいかないACP

- 関係性ができていないのに土足で踏み込む
- 事前指示を取ることを目的とする
- 医療者の価値観を押しつける
- 揺れることを許容しない
- 代理決定者と共有されていない
- 病院内・地域で紡がれていない

自分の前の方が明るく開けていると、私たちはこころよい。

そして**自分を守ってくれる後ろだてが背後にいて、**

両脇には腹蔵なくつきあえる連れが並んでいると、

私たちは安心して生きていける

ACPで一番大切なこと

相手に興味を持ち、
「その人に合った医療を提供したい」
というマインドで

希望の灯をともしましょう！